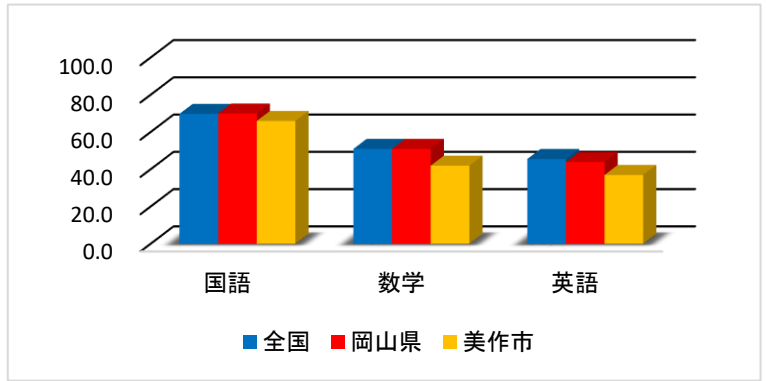


○平均正答率（中3） 割合（％）

	国語	数学	英語
全国	69.8	51.0	45.6
岡山県	70	51	44
美作市	66	42	37

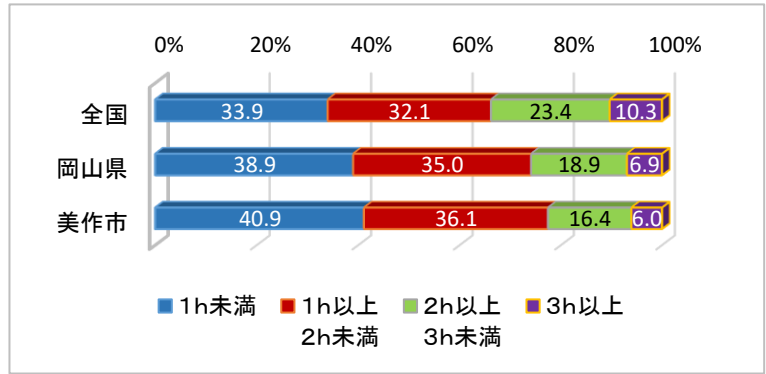
- ・国語、数学、英語すべて、全国、県を下回った。
- ・国語では「読むこと」の問題について、全国との差が大きかった。
- ・数学では自然数を選ぶ設問や累積度数を求める設問において課題見られた。基礎的な概念の理解や用語の必要性とその意味を理解できるよう数学的活動を通して身に付けることが必要である。
- ・英語では依頼する表現に書き換える設問、会話が成り立つように英文を完成させる設問において全国との差が大きかった。



○平日の家庭学習時間（中3） 割合（％）

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	33.9	32.1	23.4	10.3
岡山県	38.9	35.0	18.9	6.9
美作市	40.9	36.1	16.4	6.0

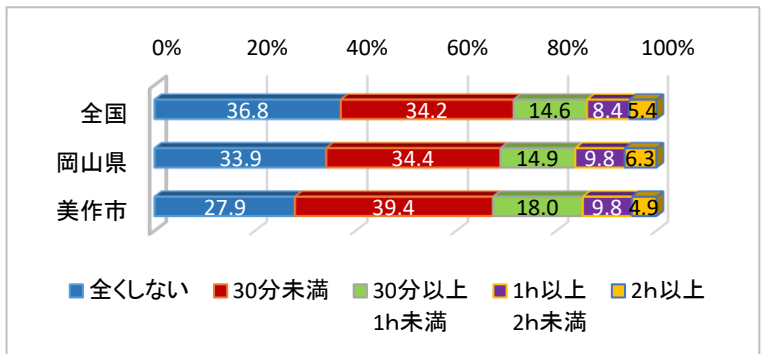
- ・平日の家庭学習1時間未満の割合は全国、県と比べ高い数値である。
- ・授業と家庭学習を関連付けながら、予習・復習・個別課題等の内容を工夫すること、短いサイクルで定着状況を確認し、つまずきの解消を図ることが必要である。



○平日の読書時間（中3） 割合（％）

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	36.8	34.2	14.6	8.4	5.4
岡山県	33.9	34.4	14.9	9.8	6.3
美作市	27.9	39.4	18.0	9.8	4.9

- ・平日に読書を「全くしない」生徒の割合は、全国、県と比較すると少ない。
- ・「読書は好きですか」の項目で肯定的回答をしている生徒の割合が、全国と比べ高い。
- ・読書の時間確保のための工夫がさらに必要である。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題】

- ・国語の意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかをみる設問で正答率が全国平均を上回った。今後も原因と結果、意見と根拠などに着目し、情報と情報との関係について理解させることを大切にしたい。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる設問で、正答率が全国平均を下回った。数学では経年的に「関数」について課題が大きい。日常的な事象における数量関係を、表、式、グラフを相互に関連付けて考察させるなど、特徴的的確に捉え数学的に説明させる活動を設定する必要がある。
- ・英語では、ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書くことができるかどうかをみる設問の正答率が低い。文章の内容を把握し、そのことについて自分の考えを述べて書いたりする活動を設定する必要がある。
- ・40.9%の生徒について平日の家庭学習が1時間未満である。家庭学習の内容の工夫、また、家庭学習習慣の定着へ向けた取組など更に充実させていかなければならない。

【課題に応じた改善のポイント】

- 授業改善の推進 ～主体的・対話的に学ぶ活動を工夫し、学びの深まりを実感させる授業づくり～
 - ・「岡山型学習指導のスタンダード」を基にした授業づくりに加え、「岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善『一歩先へ』」に示されている児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行うことを重点として、授業改善を進める。
 - 自己の学びの成果が実感できる「振り返り」の充実を図る。
 - 根拠をもとにしてわかりやすく伝える等、言語活動を重視した授業づくりを行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 - 1人1台端末などICT機器をより一層活用した効果的な授業実践を行う。
 - 基礎的知識の確実な定着と補充学習の充実を図る。
 - 家庭学習につなげる授業づくり(復習、予習、自主学習の充実、1人1台端末の活用)と家庭学習の出し方(質と量)の工夫を行う。
- 落ち着いた学習環境下での学ぶ意欲の向上
 - ・人間関係を大切に、生徒が主体的に学び合える学級集団づくり
- 生活習慣、学習習慣の確立
 - ・中学校区での家庭学習に関する取組の充実(家庭学習充実ウィーク、家庭学習の手引き等の活用、成長を実感できる評価と取組の見える化)
 - ・1人1台端末の効果的な活用による家庭学習の充実(予習的課題、授業との連動を行う)
 - ・中学校区で統一したメディアへの取組の充実